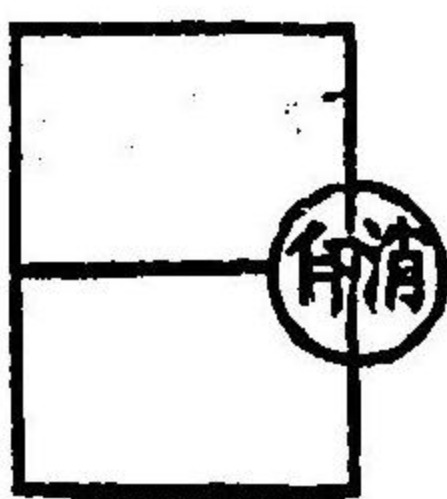


附錄第三號

用紙半紙二ツ切



住所身分職業

願人 氏名 印

明治何年何月何日

(何々)勸解願

住所身分職業

被願人 氏名

金錢ニ關スルモ
ノハ請求額及ヒ
抵當ノ有無品目ナリ
無其他ノモノハ
價格ヲ記ス可シ

○告示第六十四號 明治二十三年七月十五日

本年七月司法省告示第十七號ニ依リ出張裁判開廷ニ付該日割及訴訟手續左ノ通り相定メ候旨
福井始審裁判所ヨリ通牒アリタリ

本年司法省告示第十七號ノ通牒并始審裁判所武生粟田部両出張所出張裁判開廷場所管轄區域及期日被相定候ニ付テハ開廷日割及訴訟手續左ノ通り相定候

開廷日割

一 武生出張所 毎期月 一日ヨリ十日迄

但本年ニ限リ七月ハ廿一日ヨリ卅日迄

一 粟田部出張所 同 廿一日ヨリ卅日迄

訴訟手續

第一條 明治二十二年勸令第六十七號第一條ニ從ヒ訴訟及ヒ勸解願ヲ爲ス者ハ毎期開廷前ニ其出張所ニ提出ス可シ

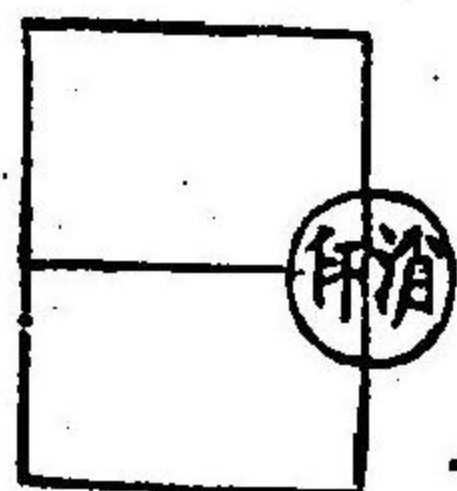
第二條 口頭ニテ訴ヘ又ハ答ヲ爲サントスル者ハ附錄第一、二、號雛形ニ準シ成規ノ印紙ヲ貼用シタル名刺ヲ差出ス可シ

第三條 勸解願ハ附錄第三號雛形ニ準シ印紙貼用ノ名刺ヲ差出ス可シ

第四條 凡テ呼出狀其他書類ノ送達ハ原被告ヲテテ送達セシムヘキコ付之ヲ受ケタル者ハ速ニ相手方ヘ送達スヘシ

附錄第一號

用紙半紙二ツ切



住所身分職業
原告人 氏名 印

明治何年何月何日

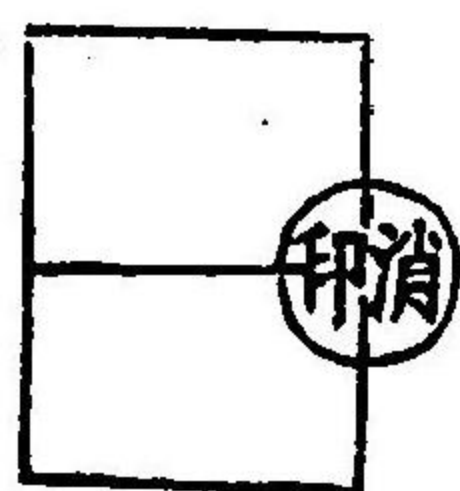
(何々)之訴

金錢ニ關スルモノ有記スヘシ
ハ請求額及抵當ノ有記スヘシ
其他ノモノハ價格ヲ記スヘシ

住所身分職業
被告人 氏名

附錄第二號

用紙半紙二ツ切



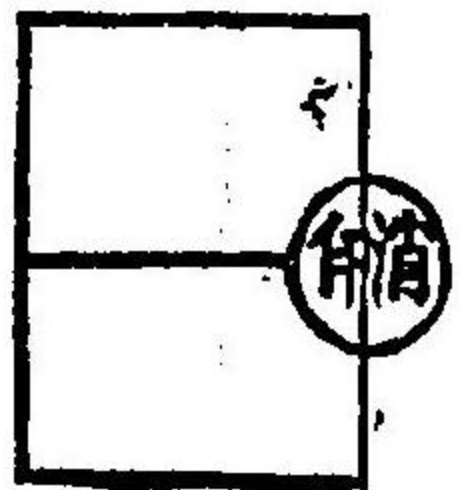
住所身分職業
被告人 氏名 印

明治何年何月何日

原告氏名ヨリ係ル何々事件ノ答

附錄第三號

用紙半紙二ツ切



住所身分職業
願人 氏名 印

明治何年何月何日

(何々)勸解願

金錢ニ關スルモノ有記スヘシ
ハ請求額及抵當ノ有記スヘシ
其他ノモノハ價格ヲ記スヘシ

住所身分職業
被願人 氏名

明治廿三年 明治廿四年

○訓令第二十號 明治二十三年七月三十日

市町村

地所建物船舶登記ニ付市町村長ヨリ登記請願人へ付與スル證明書中誤記ノ廉往々有之官民トモ支障尠カラサル旨其筋ヨリ照會ノ次第モ有之候條調査方粗漏無之様取扱上專ラ注意スヘシ

○告示第九十七號 明治二十三年十月八日

明治廿二年(二月)告示第十七號中左記ノ事項ヲ削除ス

- 一 神佛例祭屆
- 一 雨乞ノ下又ハ稻虫送ノ五字
- 一 鳥獸獵免許及威銃免許屆
- 一 諸興業休廢屆

○告示第四十四號 明治二十四年三月二十九日

來ル四月一日ヨリ本縣下ニ郡制ヲ施行セラル、旨内務大臣ヨリ達セラル

○縣達第三十五號 明治廿四年五月廿九日

郡

明治十八年(十月)本縣内第百七號達旅行其他欠勤願事項中祖先及父母ノ墓參トアルヲ父母忌中又ハ年回ノ墓參ト改ム

○縣達第三十七號

明治廿四年六月六日

郡吏員 縣立學校職員 縣立病院職員
 市町村立小學校職員 官國幣社神職
 非役正七位以下勳七等以下ノ輩

新年紀元節天長節參賀并賀表差出方自今左ノ通心得ヘシ

- 一 判任官同待遇者及正七位以下勳七等以下ニシテ非役又ハ雇員等ノ輩ハ當日午前第九時本廳へ參賀スヘシ但シ出廳ノ者ハ官位勳等肩書名刺ヲ差出スヘシ
- 一 前項ノ輩ニシテ廳下ニ在ラザルモノハ左ノ書式ニヨリ賀表ヲ本廳へ差出スヘシ但シ數人連名ヲ以テ認ムルモ妨ケナシ且ツ封皮ノ表面ニハ賀表ノ二字ヲ記スヘシ

明治二十四年

料紙美濃白紙横二ツ折

折目

謹奉賀新年	紀元節	天長節	年月日	官(位)勳苗字名	又ハ	位(勳)苗字名
-------	-----	-----	-----	----------	----	---------

○告示第百十二號 明治二十四年六月廿六日
 來ル八月一日ヨリ本縣ニ府縣制ヲ施行スル旨内務大臣ヨリ達セラレ

○告示第百十七號 明治二十四年七月十日

私雇外國人ノ内許可ヲ得テ居留地外ニ住居地ノ者居留地外ニ於テ轉居ノ節モ當初居留地外
 住居ノ節全權雇主ヨリ許可ヲ乞フヘキ筈ノ處自今雇主ノ轉居ト共ニ轉居スルカ若シハ當
 初許可ヲ得タル住居地ノ近傍ニ轉居候節ニ限リ届出ツル迄ニテ出願ニ及ハサル旨其筋ヨリ
 訓示アリタリ

福井縣文官普通試驗科目及手續左ノ通相定ム

明治二十一年四月十日

福井縣文官普通試驗委員

福井縣文官普通試驗科目及手續

第一條 當職ニ於テ行フ普通試驗ハ通常左ニ列記スル科目中各受験人ニ付三科目以上五科
 目以下ヲ以テ七時間以内ニ試驗ヲ行フ其定限トス但警察官吏收稅官吏ノ見習ニ任命セ
 ラルヘキ者ハ本文ノ科目ニ加フルニ刑法治罪法并ニ警察規則若クハ租稅規則ノ二科目ヲ
 以テスヘシ

- 一讀書 漢文 漢字交リ文 往復文 和文
- 一作文 漢文 漢交リ字文 往復文 和文

- 一筆寫 楷書 行書 草書 假名
 - 一數學 算術 代數 幾何 三角法
 - 一地理 自然 政治 所在地方地理 本邦地理 外國地理
 - 一歷史 所在地方沿革 本邦歷史 漢土朝鮮歷史 外國歷史
 - 一博物 動物 植物 礦物
 - 一理化學
 - 一簿記 單記 複記
 - 一圖畫 自在畫法 用器畫法
- 第二條 各科目ノ程度ハ明治十九年五月文部省令第八號小學校ノ學課程全年六月全省令第拾四號尋常中學校ノ學科課程ヲ通シタル程度其簿記ハ全年五月全省令第九號尋常師範學校ノ程度ヲ標準トス但當廳ノ須要ニ從ヒ其程度ヲ斟酌スルコトアルヘシ
- 第三條 外國語又ハ法律政治及理財ノ各科目ヲ以テ試驗ヲ受ケンコトヲ企望スルモノハ當廳ノ須要ニ從ヒ普通試驗委員長ノ許可ヲ以テ第一條ノ科目ニ加ヘ若クハ之ニ代ヘテ受驗スルコトヲ得ヘシ
- 第四條 試驗ノ期日及場所ハ三個月以前ニ普通試驗委員長之ヲ公告スヘシ又當廳ニ於テ必

- 要アルトキハ前條々ニ掲ケル科目中ニ就キ特ニ試驗科目ヲ定メ一個月以前ニ之ヲ公告スヘシ
- 第五條 普通試驗ハ勅奏判任官ニシテ普通試驗委員長ノ許可ヲ得タルモノ、外傍聽ヲ許サズ
- 第六條 普通試驗委員長ハ受驗人名簿ヲ調製シ各受驗人ノ番號ヲ定メテ記入シ之ヲ受驗人ニ通知スルモノトス
- 第七條 試驗ハ受驗人總員ヲ一室又ハ數室內ニ閉鎖シ試驗科目擔任ノ試驗委員之ヲ行フ
- 第八條 受驗人多クシテ同日ニ試驗ヲ施行スル能ハサルトキハ普通試驗委員ニ於テ別ニ問題ヲ選ビ試驗期日ヲ異ニスルコトヲ得ヘシ
- 第九條 試驗室ハ定刻十分前ニ開キテ受驗人ヲ入ラシメ定刻ニ於テ閉鎖シ試驗中切ニ出入ヲ許サズ
- 第十條 試驗室ニ備ヘ置クヘキ必要ノ參考書類ハ法律類集官報其他公然ノ法章ニ限ル
- 第十一條 試驗問題ノ數ハ各科目ニ付キ該科目擔任ノ試驗委員之ヲ定メ試驗ノ三日普通試驗委員長ニ差出スヘシ
- 第十二條 試驗ノ問題ハ普通試驗委員長方法ヲ一定シ各受驗人ニ知悉セシメ筆記試驗ハ豫

定ノ時間内ニ答辨書ヲ差出サシメ口述若シクハ實業ニ關スル試験ハ即時ニ之ニ答ヘシム
第十三條 普通試験ハ兼テ受験人ノ言語動作適正ナリヤ其問題ヲ筆記及口述スルニ確實
捷ナルヤ否ヲモ考察スルモノトス

第十四條 普通試験委員ハ試験ノ終リタル后三日以内ニ答辨書其他ノ試験成績ノ報告ヲ普
通試験委員長ニ差出スヘシ筆記試験若シクハ實業ノ試験ニ於テ應答ノ書類アラハ之ヲ添
付スヘシ

第十五條 普通試験各科目ノ点数ハ一百ヲ以テ滿点トシ各科目ノ点数ヲ通計シ得ル所ノ和
ヲ科目ノ數ヲ以テ除キ得タルモノヲ平均点数トス

第十六條 普通試験ヲ經タル各科目ノ点数及其全体ノ效果ニ關シ合格者ヲ定ムルハ普通試
験委員長ノ上席ヲ以テ普通試験委員ノ議定シタル平均点数ニ依ル但シ一科目ノ点数五十
ニ達セサル者ハ合格者トナサス

第十七條 普通試験委員長ハ普通試験委員ノ職務ニ屬スル議決ノ數ニ入ラス其議決ニ關シ
普通試験委員ノ説可否相半スルトキハ普通試験委員長ノ定ムル處ニ依ル

第十八條 試験當選者ノ姓名ハ其試験ヲ行ヒタル日ヨリ四週間以内ニ普通試験委員之ヲ公
告ス

第十九條 普通試験願書ハ書式ニ從ヒ普通試験期日十五日前マテニ差出スヘシ其履歷書ニ

ハ生年月住所ノ移動學事及職業ノ履歷實罰身代限ノ有無等ヲ詳記シ品行ニ關スル證書ア
ラハ其寫ヲモ之ニ添付スヘシ但第三條ノ願望アランモノハ其旨ヲモ明記スヘシ

第二十條 前條ノ出願者ニシテ官公私立學校ノ卒業證書若シクハ免許狀等ヲ有スルモノハ
其寫ヲ願書ニ添付スヘシ

第二十一條 兵役ニ關スル區戸長ノ證書ハ免役及猶豫ヲ証明シタルモノタルヘシ

第二十二條 受験人普通試験委員長ノ定メタル日時ニ出席セサルトキハ當期ノ試験ヲ受ル
コトヲ得ス

第二十三條 受験人ハ其試験ヲ受クルノ際試験手續ニ關スル規則及普通試験委員ノ命令ヲ
遵守スヘシ犯ス者ハ當該ノ試験委員ニ於テ退室ヲ命メタル後之ヲ普通試験委員長ニ報告
シ其試験ヲ拒ムコトヲ得

第二十四條 受験人ハ試験時間中退室スルコトヲ得ス退室シタルトキハ當期ノ試験ヲ受ク
ルコトヲ得ス

第二十五條 受験人ハ室内ニ在リテ靜肅ヲ旨トシ舉措進退一ニ普通試験委員ノ指揮ニ遵フ
ヘシ

明治二十二年二月十
二日公告ヲ以テ檢査
トアルヲ延期ト改ム

第二十六條 受験人ハ試験問題ニ就キ試験委員ニ質問スルコトヲ得ス

第二十七條 受験人ハ試験定刻三十分前マテニ試験場ニ參集シ當日ノ試験ヲ了リタル後ハ直ニ退出スヘシ

第二十八條 試験了リタル者ハ當日未タ試験ヲ了ラサル者ト交話スルヲ許サス

第二十九條 答辨書ハ其主意ヲ明瞭ニ記載シ文字ハ楷書若シハ行書ニテ分明ニ記スヘシ

第三十條 受験人ハ答辨書ニ豫定ノ番號ヲ記シ其姓名ヲ掲クルコトヲ得ス

第三十一條 受験人ハ書類ヲ携帯シテ室内ニ入ルコトヲ得ス

第三十二條 受験人ハ洋服又ハ袴ヲ着用スヘシ

試験願書式 用紙美濃紙

族籍戸主又ハ何某嗣子二三男
兄弟等ノ別

職業 姓名

生年月

私義明治廿年七月勅令第三十七號文官試験試補及見習規則ニ基ツキ某官見習志願ニ付普通試験相受ケ度別紙履歷書(卒業証書寫)兵役ニ關スル証書相添ヘ此段奉願候也

現住所

年月日

姓名

普通試験委員長 姓名 殿

履歷書式 用紙美濃紙

何府縣華士族平民

姓名

年號月日生

本籍

一何府縣何國何郡區何町村何番地戸主又ハ何某男弟伯叔父等現ニ本籍地ニ居住スルトキ
ヲ木項ニ加記シ次項ノ
現今寄留地ヲ省クヘシ

現今寄留地

一何府縣何國何郡區何町村何番地(何某方)寄留

住所ノ移動

一何年何月何地ニ生レ何年何月迄居住

一何年何月何地ニ移轉シ何年何月迄全所ニ居住

右ハ居住ヲ移轉スル毎ニ之ヲ記載スヘシ

學事

一何年何月ヨリ何地何某ニ就キ又ハ官公私立何學校ニ於テ何學ヲ修メ何年何月ニ至ル所
修ノ書籍大略何々

一何年何月ヨリ何地官公私立何學校ニ入り何學科ヲ修業メ何年何月卒業ス其證書ノ寫別
紙ノ如シ修業何年何月間ニシテ其科目ハ何々

一何年何月何地何學校(何々)ニ於テ何々ノ試験ヲ受ケ及第ス其證書若シクハ免許狀ノ寫
別紙ノ如シ受験ノ科目ハ何々

職業

一何年何月何地官公私立何學校何科教員トナリ教授ニ從事メ何年何月解職其間何々ヲ兼
勤メ何々ノ事務ニ從事ス以上ノ辭令左ノ如シ

此所ニ辭令ノ全文ヲ各通トモ掲記スヘシ又私立學校等ニテ
辭令ナキモノハ之ヲ省キ其俸給等ヲ本文ニ詳記スヘシ

一何年何月何官廳ニ於テ何々拜命何年何月マテ何々ノ事務ニ從事メ何年何月辭職以上ノ
辭令左ノ如シ

辭令ノ全文ヲ掲シ

一何年何月ヨリ何地何會社ニ雇ハレ(俸給月何圓)何々ノ業務ニ從事メ何年何月ニ至テ解

賞罰

履其間俸給ノ増加何回最終俸給月何圓

一何年何月ヨリ何年何月迄何業ニ從事ス

一何年何月ヨリ何々ノ著譯ニ從事メ何年何月ニ至ル其著譯スル所ノ書名左ノ如シ
著譯書名ヲ掲ク但洋書ハ其原名ヲモ記スヘシ

賞罰

一何年何月何地ニ於テ何々ノ事由ノヲメ賞ヲ受テ其辭令左ノ如シ

辭令全文ヲ掲ケ辭令ナキモノハ本文中ニ受賞ノ事由ヲ詳記スヘシ

一何年何月何地ニ於テ何々ノ事由ノヲメ罰ヲ受テ

辭令アルモノハ各其全文ヲ掲ケ辭令ナキモノハ本文中ニ其事由ヲ詳記シ又裁判
所ノ宣告書ハ其要ヲ記スヘシ總テ罰ハ其受罰ノ日數過料罰金ノ額等ヲ記スヘシ

身代限ノ有無

一何年何月何地ニ於テ身代限ノ處分ヲ受テ(身代限ノ處分ヲ受ケタルコトナシ)

右ノ處分ニ付裁判所ノ申渡ヲ記スヘシ

年月日

右 姓名印

履歷書ハ楷書又ハ行書ニテ明瞭ニ記スヘシ

客年四月十日公告セシ本縣文官普通試驗科目及手續第二十一條中猶豫トアルヲ延期ト改ム
明治二十二年二月十二日
福井縣文官普通試驗委員

市町村公共組合歳入歳出及財産拾遺

明治廿四年告
示第七十三号

○告示第十六號 明治二十四年二月廿五日

客年(十二月)縣令第八十三號高標江堰所組合ノ義假指定ノ通之ヲ設置シ高標用水組合ト改稱シ坂井郡長ヲ該用水組合管理者トス

○告示第十七號 明治二十四年二月廿五日

客年(十二月)縣令第八十四號十鄉大堰所組合ノ義假指定ノ通之ヲ設置シ坂井郡長ヲ該用水組合管理者トス

○告示第十八號 明治二十四年二月廿五日

客年(十二月)縣令第八十七號磯部用水組合ノ義假指定ノ通之ヲ設置シ坂井郡長ヲ該用水組合管理者トス

○告示第十九號 明治二十四年二月廿五日

客年(十二月)縣令第八十八號新江用水組合ノ義假指定ノ通之ヲ設置シ坂井郡長ヲ該用水組合管理者トス

○告示第二十號 明治二十四年二月廿五日

客年(十二月)縣令第八十九號橫落神明十鄉用水組合ノ義假指定ノ通之ヲ設置シ十鄉用水ト改稱シ坂井郡長ヲ該用水組合管理者トス

○告示第二十四號 明治二十四年三月四日

客年(十二月)縣令第八十六號山梨子用水組合ノ義假指定ノ通之ヲ設置シ坂井郡長ヲ該用水組合管理者トス

明治廿四年告示第五十號參看

○告示第二十六號 明治二十四年三月十一日

木田用水組合ノ義客年(十二月)縣令第七十號假指定ノ通之ヲ設置シ足羽吉田郡長ヲ該用水組合管理者トス

明治廿四年告示第三十六號參看

○告示第二十七號 明治二十四年三月十二日

坂口用水組合ノ義客年(十二月)縣令第八十五號假指定ノ通之ヲ設置シ木部村長ヲ該用水組合管理者トス

明治廿四年告示第五十號參看

○告示第二十八號 明治二十四年三月十二日

櫻用水組合ノ義客年(十二月)縣令第六十九號假指定ノ通之ヲ設置シ足羽吉田郡長ヲ該用水組合管理者トス

明治廿四年告示第五十號參看

○告示第二十九號 明治二十四年三月十二日

十ヶ用水組合ノ義客年(十二月)縣令第七十九號假指定ノ通之ヲ設置シ足羽吉田郡長ヲ該用水組合管理者トス

明治廿四年告示第五十號參看

○告示第三十號 明治二十四年三月十二日

六條用水組合ノ義客年(十二月)縣令第七十二號假指定ノ通之ヲ設置シ足羽吉田郡長ヲ該用水組合管理者トス

明治廿四年
告示第五十号

○告示第三十一號 明治二十四年三月十二日
徳光用水組合ノ義客年(十二月)縣令第七十三號假指定ノ通之ヲ設置シ足羽吉田郡長ヲ該用水組合管理者トス

明治二十五年五月十五日印刷
全 年五月十七日出版

福井縣

發行者 品川 太右衛門

福井縣福井市佐佳枝中町五十二番地

印刷者 岡崎 左喜介

全縣全市照手上町五番地

版權
所有

